

防火会報 2011

(社)田川地区防災協会

- 発行 社団法人 田川地区防災協会
- 発行人 平田 篤三郎
- 印刷 旬溝印刷 ☎42-2091

NO.37

毎月1日は
防災の日です



(社)田川地区防災協会シンボルマーク

消防本部から望む雪化粧した福智連山



主な 記載記事

総会	3
火災と救急の概要	4
実施した防災事業	5

●平成22年度 全国統一防火標語

「消したかな」 あなたを守る 合言葉

●平成22年度 危険物安全推進標語

危険物 事故は瞬間 無事故は習慣

謹んで新年の

お喜びを申し上げます



社団法人
田川地区防災協会
会長 平田 篤三郎

謹んで新年の
お喜びを申し上げます

輝かしい平成23年の年頭に当たり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、平素から当協会の運営に対して格別のご支援とご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、世界同時不況による景気の急速な悪化に伴い、日本の経済及び政治情勢もなかなか慢性的な不景気からの脱却が進捗しないことから、高校、大学の新卒者の就職も超氷河期の状況が続く雇用情勢も悪化している現状で依然として先行き不透明な状況が続いてお

ります。

このような情勢の中で、我々の住む田川地域においても大きな影響となり、公共事業の縮小や中小企業の事業縮小及び廃業等により、当協会の会員数の減少にもつながっていることが伺われます。

社団法人田川地区防災協会といたしましては、この田川地域における防災に関する唯一の民間団体としての活動を通じて田川地域の防災に寄与することを理念として、今後も尚一層の努力をしていくことといたしております。

「自分たちの地域や職場は自分たちで守る」という意識を新たにしていって防災活動を推進していきたいと考え、本年も昨年に引き続き、会員の皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



田川地区消防本部
消防長 山田 昇

平成23年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶申し上げます。

社団法人田川地区防災協会会員の皆様方におかれましては、平素から消防行政にご理解、ご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

さて、災害について昨年を振り返りますと、平成22年1月12日にカリブ海ハイチにおいてマグニチュード7クラスの強い地震が発生し、22万3千人を超える死者、行方不明者が発生したもので、単一の地震災害としては、スマトラ島沖地震に匹敵する近年空前の大規模なものとなりました。国内では、10月20日に奄美大島において記録的な豪雨による大きな被害が発生しております。この豪雨による災害で、3名の尊い人命が亡くなっております。

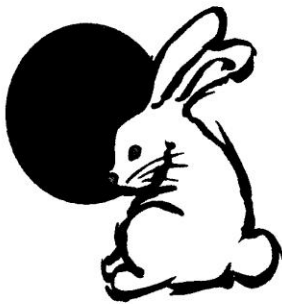
このような自然災害は、突発的に発生するものでありますから、いっどこで発生するかを予測することは非常に困難ではありますが、近年の全世界的な気象異常による

ものとの関連があるとの情報も取りざたされており、田川地域においても万全の体制でこのような災害危険から住民を守ることを常備消防の使命として日夜努力しているところであります。

管内における災害につきましては、平成22年中火災が100件発生し、救急出動が7961件出動いたしております。これは、昨年と比較しまして、火災は24件の減少、救急出動件数は415件の増加となっております。

消防本部といたしましては、昨今の厳しい財政状況のもとで、消防力と住民サービスを維持しつつ、地域住民の期待にこたえるよう消防行政の推進に全力をあげて取り組んでいきますので、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴協会のみますますのご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。





- 平成二十二年総会は、多数の来賓を迎え開催されました。議決された内容は次のとおりです。
- 一 平成二十一年度事業報告について
 - 二 平成二十一年度社団法人田川地区防災協会収支決算について
 - 三 平成二十二年事業計画について
 - 四 平成二十二年度社団法人田川地区

総会

平成 22 年度の総会が、平成 22 年 5 月 25 日 (火) ザ・ブリティッシュヒルズにおいて開催されました。今年度は、「定款の変更について」の議案のため総会の開催となりました。議案審議に先立ち防災功労者への表彰の伝達が行われました。

- 五 役員及び総代の選任について
- 六 定款の変更について

防災功労表彰を受けられた方は次のとおりです。

■特別表彰

(会長表彰)

湯口 紀文 (前副会長)
小坂 和英 (故人・前理事)

■防災功労表彰

(会長表彰)

防火優良事業所
田川米穀販売協同組合
新田川不動産株式会社
株式会社福田石材工業
有限会社シオテツ工業
株式会社村上建設
奈良区
合名会社石川商店

優良危険物取扱者

池田 達朗 (木村石油)
沖島光日出 (江藤石油)
末原 敬祐 (末原産業)
古後 恒久 (三栄石販)
平原 多美 (上田川石油)
小賀 秋弘 (小賀石油)
糸川 清子 (御桑野商事)

優良消防設備業者

柳上田廣士本店
中田電気工事店
宇都宮工業
安藤水工
御藤浦設備

優良消防設備士

木本 哲平 (御ヤマシヨウ)
中川 俊文 (カスガ消防特機)

優良防火管理者

福田 昭夫 (医療法人敬信会大光山病院)
井手元正人 (特別養護老人ホーム豊寿園)

合資会社林泰生商店
郵便局株式会社赤池郵便局
医療法人玄風会介護老人保健施設
レイクヴィラたぎり
軽費老人ホーム
シルバークアカナタ

医療法人二田水整形外科医院
(社)福岡県LPガス協会
田川支部香春部会



優良業務主任者

平田 和義 (マルトガス筑豊)
木村津也子 (木村商店)

今年度新たに選任された役員・総代は次のとおりです。

(順不動敬称略)

会 長	平田 篤三郎	中村 英気
副会長	二場 浩隆	川端喜美男
理 事	下園 文夫	仲村 一秀
	江藤 正剛	末原 敬祐
	山本 浩	久本 実
	村上 忠輔	小嶋 尚記
	桑野 秀幸	高嶋 英紀
	西村 裕喜	平田 俊成
	宮田 哲宏	池田 昇
	吉田 善行	後藤 康彦
	門前 進	

総 代

柳 木 堀 馬 高 野 池 溝 市 柴 永 加 大 滝 白 北 山 秋 木 森 上 植 嶋 中 田 下 森 田 平 大 崎 杉 木 福
 武 村 田 面 城 見 尻 口 岡 田 野 治 内 口 土 川 元 下 下 高 津 畑 村 田 中 井 石 山 尾 下 田
 好 勝 伊 俊 山 英 雅 敏 和 修 接 孝 憲 雅 紳 進 潤 邦 順 敏 公 鶴 正 聡 貢 勝 睦 太 英 洋 誠 哲 昭
 文 章 三 行 敏 一 靖 生 雄 身 執 次 治 彦 一郎 一 夫 二 夫 蔵 子 人 治 久 郎 之 一 一 之 夫
 星 山 日 二 梅 鳥 加 津 篠 木 毛 今 原 三 大 松 久 平 中 藤 木 福 永 日 八 原 永 重 田 嘉 下 櫻 成
 野 崎 巻 場 本 越 来 島 原 戸 利 永 宅 神 村 富 田 藤 浦 村 田 峰 高 代 田 松 岡 原 久 山 本 田
 胤 俊 敏 久 隆 一 正 潔 光 元 松 博 隆 修 寛 智 年 和 讓 壽 三 千 洋 仲 厚 政 茂 博 広 省 礼 久 美 公 忠
 高 夫 幸 志 一 憲 潔 雄 登 昭 雄 文 吉 一 治 志 義 二 壽 生 子 也 治 春 己 隆 二 子 義 紀 憲



●総会会場風景

仲 吉 石 駒 天 江 正 大 霧 空 坂 崎 中 中
 村 田 丸 井 野 頭 代 宅 我 閑 本 山 島 里
 信 泰 洋 良 靖 久 幸 俊 武 曉 和 京 良 大
 之 子 一 久 生 一 典 雄 基 一 作
 岡 野 永 伊 稻 日 原 瀬 末 稻 吉 中 植 中
 田 田 原 藤 葉 巻 利 竹 富 本 野 木 島
 義 敬 初 一 哲 好 正 宗 久 公 輝 利 正
 明 二 義 柳 郎 晴 直 繼 美 貢 夫 身 介 寿

火災・救急の概要

(平成22年中)

■火災の前年比較表

区 分		平成21年中	平成22年中	増 減
火 災 件 数		124 件	100 件	－ 24 件
焼損面積	建 物	3,725 ㎡	2,623 ㎡	－ 1102 ㎡
	林 野	77a	42a	－ 35a
焼 損 棟 数		68 棟	59 棟	－ 9 棟
り 災 世 帯 数		51 世帯	41 世帯	－ 10 世帯
り 災 者 数		124 人	88 人	－ 36 人
死 者		3 人	2 人	－ 1 人
負 傷 者		7 人	5 人	－ 2 人
損 害 額		157,777 千円	114,583 千円	－ 43,194 千円
全火災の1件あたりの損害額		1,272 千円	1,146 千円	－ 126 千円
建物火災 1件当り	焼 損 面 積	85 ㎡	57 ㎡	－ 28 ㎡
	損 害 額	3,465 千円	2,428 千円	－ 1,037 千円
1ヶ月当りの火災件数		10.3 件	8.3 件	－ 2.0 件
出 動 人 員（延）		1,244 人	982 人	－ 262 人
備 考		平成22年中の火災件数及び損害額 （内訳）		
		建 物	46 件	111,697 千円
		林 野	6 件	0 千円
		車 両	8 件	1,120 千円
		その他	40 件	1,766 千円
		（爆発）	0 件	0 千円

■救急の前年比較表

区 分	前 年 対 比			平成22年 救急出場別	
	平成21年	平成22年	増 減		
出場件数	7,546	7,961	415	平成22年 救急出場別	
救急件数	7,055	7,421	366		
搬送人員	7,162	7,509	347		
事故別	平成21年	平成22年	増 減	構成率%	順 位
急病	4,434	4,783	349	60.08%	1
転院	1,124	1,158	34	14.55%	2
一般負傷	865	907	42	11.39%	3
交通事故	613	519	- 94	6.52%	4
その他	293	389	96	4.89%	5
自損行為	94	85	- 9	1.07%	6
加害	46	41	- 5	0.52%	7
労働災害事故	32	40	8	0.50%	8
運動競技事故	29	29	0	0.36%	9
火災	8	5	- 3	0.06%	10
水難事故	4	5	1	0.06%	10
自然災害事故	4	0	- 4	0.00%	11
一日平均件数	20.7	21.8			

住宅用火災警報器普及率
(平成22年12月現在)

市町村	普及率
田川市	74%
香春町	62%
添田町	65%
川崎町	58%
糸田町	60%
大任町	94%
福智町	50%
赤村	88%

田川地区管内全体の平均普及率 69.4%

当協会では、毎年一人暮らしのお年寄りの家庭に、煙を感知して火災を知らせる住宅用火災警報器を贈っています。この住宅用火災警報器は、新築住宅は平成18年6月から、既存住宅では平成21年6月までにそれぞれ設置義務が生じています。

贈られたお年寄りからは、毎年これで安心と大変喜ばれています。

平成22年12月に田川地区消防本部予防課でアンケート調査による住宅用火災警報器の普及率調査を実施したところ、次表のとおりでありました。今後とも(社)田川地区防災協会では、普及率向上の一躍を担うためこの事業を継続していくこととしています。

住宅用火災警報器の設置11月

平成22年中

実施した防災事業

災害の未然防止を図るために、消防機関と協力して本年も各種事業を実施しました。

ひとりでも多くの人と防災の輪を広げ、明るく住みよい安心して暮らせる田川を目指して活動しています。

設置世帯については、市町村の福祉担当課に推薦していただきました。



各種講習会を実施

危険物取扱者の免状取得試験に伴う準備講習会を田川地区消防本部で実施しました。

●危険物取扱者試験準備講習会

毎年2月、5月、10月の3回実施しています。

平成22年中は69名が受講しました。

2月7日(日) 21名受講
5月30日(日) 25名受講
10月31日(日) 23名受講

●危険物の取扱作業の

保安に関する講習会

危険物取扱者免状保持者を対象として、毎年実施されているものです。

筑豊地域では、田川地区、飯塚地区、直隰地区の3地区の持ち回りで実施しています。

10月14日

午前(給取)

午後(その他)

10月15日

午前(その他)

午後(給取)

109名受講

103名受講

56名受講

98名受講



火災予防運動を協賛3月・11月

当協会では、春季及び秋季の火災予防運動の協賛を行なっています。

ショッピングセンターでのチラシ配布による火災予防啓発を行ないました。その後、防火演奏を行なった保育園に記念品を贈りました。



役員視察研修

平成22年度の視察研修は、11月14日に実施しました。15名の役員と来賓1名及び事務局4名が参加しました。

今年度は、長崎県の「原爆資料館」を見学いたしました。昭和20年8月9日に長崎に投下された原子爆弾の甚大な被害の状況を目の当りにした役員の方々は、平和の尊さを再認識されていきました。

お 知 ら せ

平成 23 年度の各種資格取得試験及び講習の予定をお知らせします。会場の都合により変更する場合がありますため、消防本部予防課内の事務局で確認して下さい。

●危険物取扱者試験

第 1 回 平成 23 年 6 月 19 日 (予定)

願書受付期間

4 月 18 日から 5 月 2 日まで

第 2 回 平成 23 年 11 月 27 日 (予定)

願書受付期間

9 月 15 日から 9 月 30 日まで

第 3 回 平成 24 年 2 月 26 日 (予定)

願書受付期間

12 月 15 日から 1 月 10 日まで

当協会では、それぞれの試験日にあわせて、乙種 4 類及び丙種の試験準備講習会を実施する予定です。

●消防設備士試験

第 1 回

福岡市 平成 23 年 7 月 24 日 (予定)

第 2 回

北九州市 平成 23 年 8 月 2 日 (予定)

第 3 回

福岡市 平成 23 年 12 月 26 日 (予定)

●危険物取扱者保安講習

平成 23 年 10 月中旬頃

会場は、飯塚市を予定しています。

受講者はいずれかの日に 3 時間の受講が必要で、危険物取扱作業に従事している次のような人が受講対象となります。

- ①免状の交付を受けた日から 3 年
- ②前回の講習を受けた日から 3 年
- ③新たに取扱作業に従事することになった人

※危険物取扱作業に従事していない人は受講の必要はありません。

●消防設備士法定講習

10 月中旬頃

消防設備 1 日
警報設備 1 日

会場は、直方鞍手広城市町村圏事務組合消防本部を予定しています。

受講対象者は、次のとおりです。

- ①消防設備士免状の交付を受けた日から 2 年以内の人
- ②前回の講習を受けた日から 5 年以内の人

●防火管理者講習会

消防法により建物の所有者などの管理権原者は、火災から人命を守るために防火管理者を定め、防火管理業務を行わせなければなりません。この防火管理者の資格は、2 日間の講習を受けることにより取得できます。

① 田川地区消防本部

平成 23 年 7 月頃

② 筑豊ハイッ

平成 23 年 9 月頃 予定

平成 24 年 2 月頃 予定

計 報

平成 22 年 1 月 14 日当防災協合理事の小坂和英氏が逝去されました。

謹んで哀悼の意を表します。

社団法人

田川地区防災協会会員一同



田川地区防災協会
へのお問合せ

(社)田川地区防災協会事務局
田川市大字川宮 1570 番地
田川地区消防本部予防課内
☎ 0947-44-0650 (内線 133)
☎ 0947-44-6256 (直通電話)

編集後記

会員の皆様、明けましておめでとうございます。
この会報も今回で第 37 号となりました。会報発行にあたり会員の皆様にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。
本年もよろしくお願い致します。

事務局長 壽浦 一成 事務局 永末 聖峰
事務局 高山 和也 事務局 養父 千栄